

内水試
かゆら版
2号
昭和58年
7月18日

今年は何カサギが好漁
です

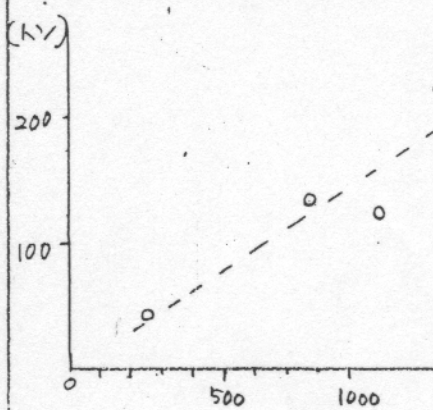
本年も霞ヶ浦、北浦でトロールに
よるワカサギの試験操業を実施しま
した。その結果を左に示しました。

	漁獲量 kg	漁獲尾数 (尾)	平均体重 (g)
木原上東	6.6	2284	2.89
木原下東	23.1	7993	2.89
白浜	30.0	9524	3.15
江川	22.2	10777	2.06
(平均)	25.1	9431	2.66

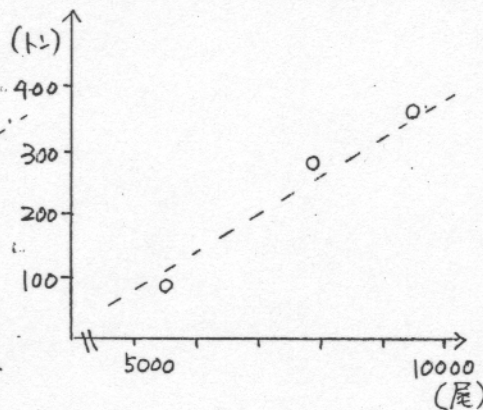
(北三浦)

	漁獲量 kg	漁獲尾数 (尾)	平均体重 (g)
木原	3.4	1138	2.96
三又上東	0.8	209	3.88
三又下東	6.8	1719	3.96
高浜	4.6	1077	4.26
(平均)	4.9	1311	3.75

(霞ヶ浦)



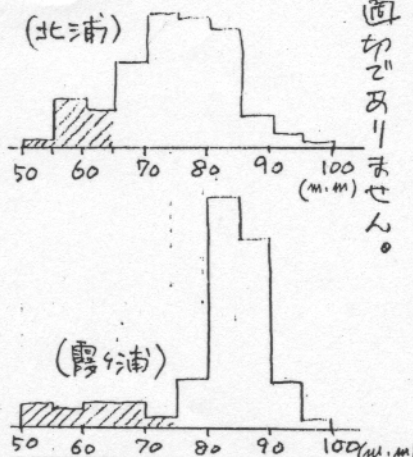
(霞ヶ浦)



(北三浦)

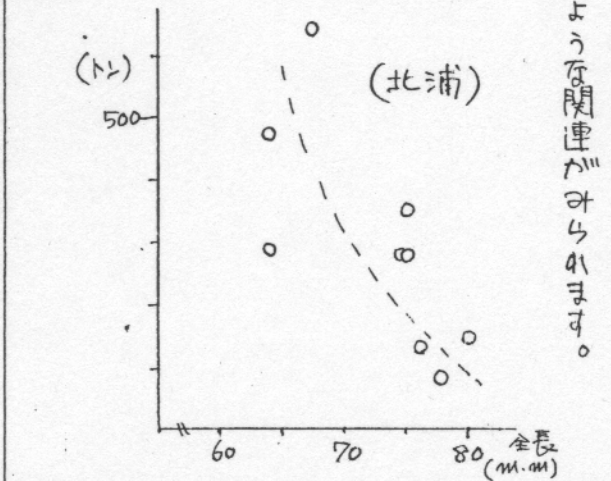
しかし、トロールも20分間曳いてから判断すると北浦の本年の平均漁獲尾数は9431尾です。この結果を基礎にして二つの側面から本年のワカサギ漁を予想してみました。
一つは漁獲量との関連です。過去の年間の試験操業の結果と年間漁獲量の関係を次の図に示します。これは魚体(大きさ)との関連でみてみます。今回の調査で得たワカサギの全長組成を次に示しました。すでに御存知のように霞ヶ浦、北浦とも大型群(小型群から成り立つ)のあり方に平均値を計算して大きさを比べることは適切ではありません。

次の図は、七月二十一日の解禁日における大型群の大きさを年次別にみてみたものです。年次により分

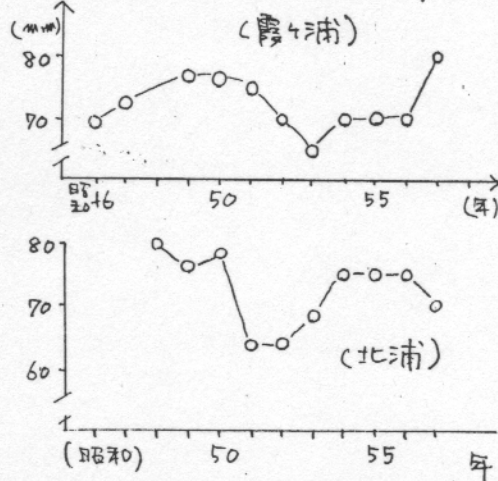


(北三浦)

(霞ヶ浦)



(北三浦)

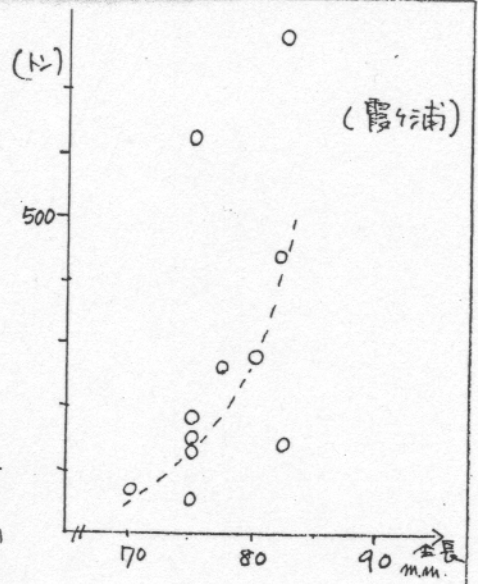


(霞ヶ浦)

(北三浦)

この解禁日における魚体の大きさと年間漁獲量との間には次図に示すような関連がみられます。

リの方がみえます。



(霞ヶ浦)

身時代の霞ヶ浦はニルと同ては、双方とも古い結果の望みぞ
じ原理でワカサギ資源を説
明してみました。現在の霞ヶ
浦については、次のように
考えます。恒常的にはワカ
サギの餌は不足気味である。
が、餌条件が良ければ、ワ
カサギの稚魚の生存率も良く、成長も
速くみられます。北浦では餌禁は好漁になる。他の魚種との関連もみ
目に魚体が大よいほど不漁である。リますのでこのように断定できない面
のに対し、霞ヶ浦では魚体が大よは確かにあります。一つの考之方ど
いほど好漁であるといえます。どはあるといえます。今年の魚体の大きさを
ちらも魚体の大きさがどの年の好みと七月十四日(解禁日一週間前)
不漁を予想する一つの目安になっ
ています。これは今の全く違った
様相を示しています。ニルは次の量は270トンぐらいい、北浦は300トン程度
ように考之るニルがごります。北と予想されます。二つの予測の結果に
浦の場合はワカサギの餌の量がお
あよと一定である。従って資源
尾数が多りと成長が悪くなる。北

カサギの稚魚の生存率も良く、成長も
速くみられます。北浦では餌禁は好漁になる。他の魚種との関連もみ
目に魚体が大よいほど不漁である。リますのでこのように断定できない面
のに対し、霞ヶ浦では魚体が大よは確かにあります。一つの考之方ど
いほど好漁であるといえます。どはあるといえます。今年の魚体の大きさを
ちらも魚体の大きさがどの年の好みと七月十四日(解禁日一週間前)
不漁を予想する一つの目安になっ
ています。これは今の全く違った
様相を示しています。ニルは次の量は270トンぐらいい、北浦は300トン程度
ように考之るニルがごります。北と予想されます。二つの予測の結果に
浦の場合はワカサギの餌の量がお
あよと一定である。従って資源
尾数が多りと成長が悪くなる。北

	木原	三又	大井戸
54	-	2400	-
55	180	358	742
56	827	746	380
57	6644	2078	2720
58	6800	10300	5800

個/haul

(いづれも3月の観測結果)

	木原	三又	大井戸
54年	-	24	0
55	720	38	2
56	27	26	0
57	4	238	0
58	0	0	0

(いづれも3月の観測)

ワカサギが好漁であるニルについ
て直接的な関連はなると考之てい
ますが、イサガアミも霞ヶ浦の重
要な資源の一つでありますので、
今後、イサガアミの資源動向につ
りとも検討していただきたく考之て
ります。

又、今年、冬から春にかけて
イサガの非常に少ない年でした。
次の表は、プランクトンネットに
採集されたイサガの数を示しまし
た。このイサガの少なかったニルと